

第2回アンケート結果

アンケートの結果、コロナ禍でほぼすべての会員企業で「Web 会議システム」を導入しており、またおおむね満足しているという結果となった。「Web 会議システム」の利用シェアでは「Zoom」86.1%と圧倒的であった。

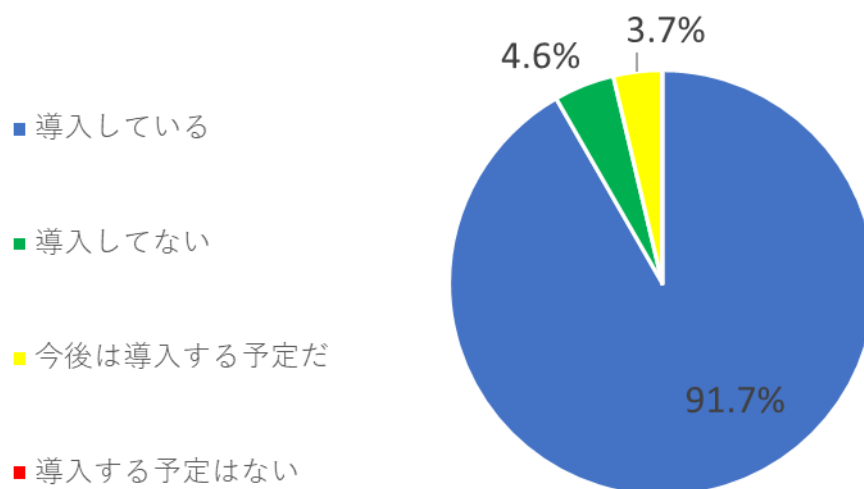
また「現在の業況は前より良くなりましたか、悪くなりましたか？」では「悪い」「さほど良くない」で76.9%となったが、「1年後の景気についてどう思いますか？」では「良くなる」「緩やかに回復する」が50.0%で「悪くなる」「緩やかに悪化する」の37.1%を上回った。

<調査対象>

- ◆調査期間：2020年6月23日～20日
- ◆対象企業：ダイヤモンド経営者倶楽部会員（621社）
- ◆回答企業数：108社（回答率17.4%）
- ◆調査方法：ウェブアンケートフォームを送付

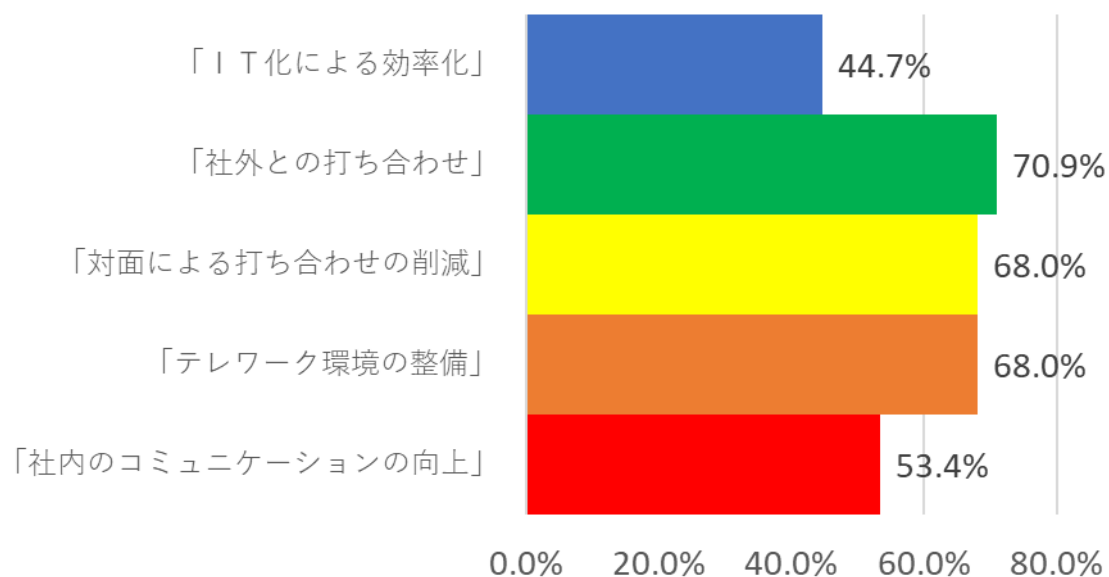
○今回の新型コロナウイルスにより「Web 会議システム」を導入しましたか。
(択一回答)

図1



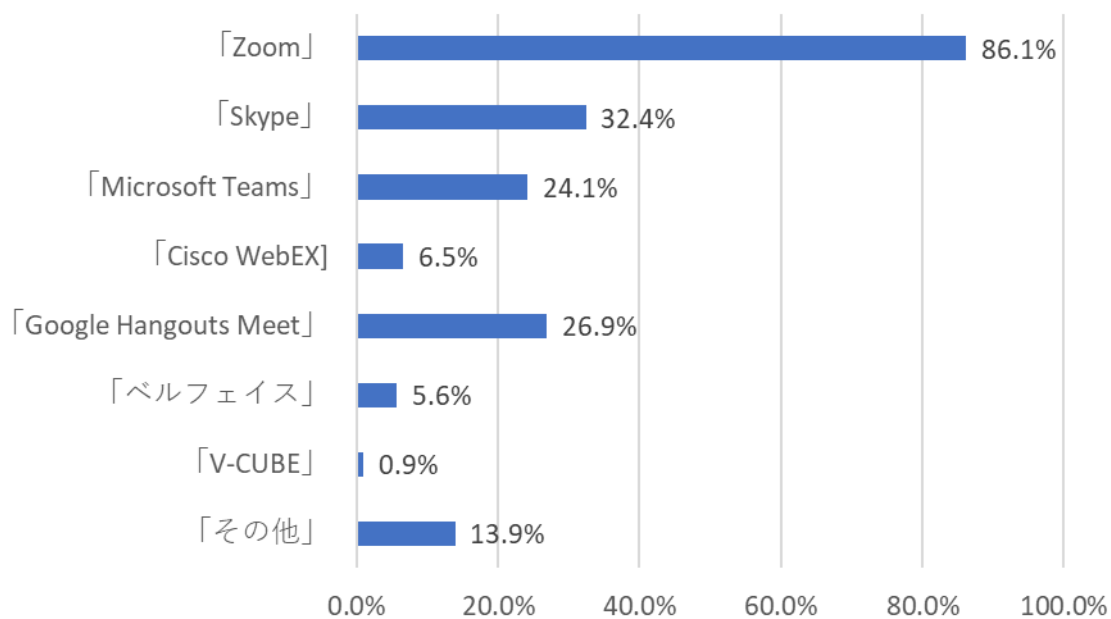
○「Web 会議システム」の導入目的はどれですか。（複数回答可）

図 2



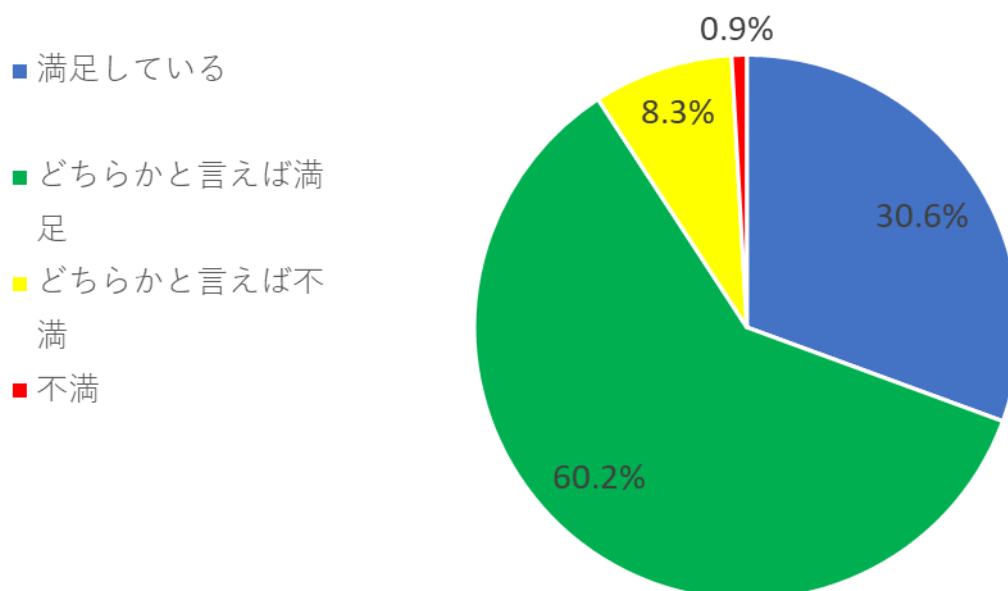
○現在利用中（または利用検討中）の「Web 会議システム」は何ですか。（複数回答可）

図 3



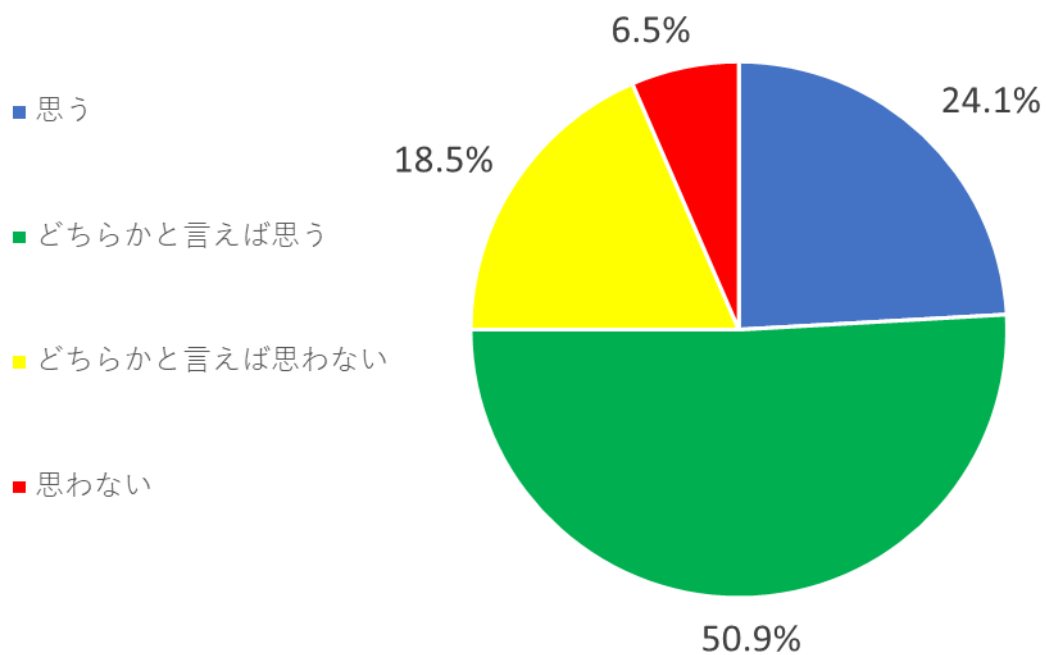
○「Web 会議システム」について満足していますか？（択一回答）

図4



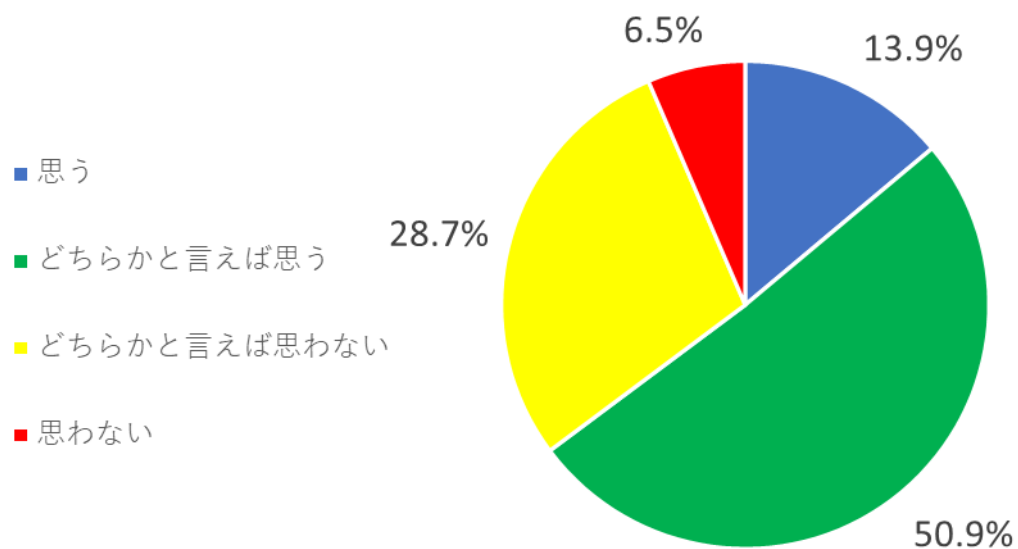
○今後、社内会議は WEB 会議でも問題ないと思いますか？
（択一回答）

図5



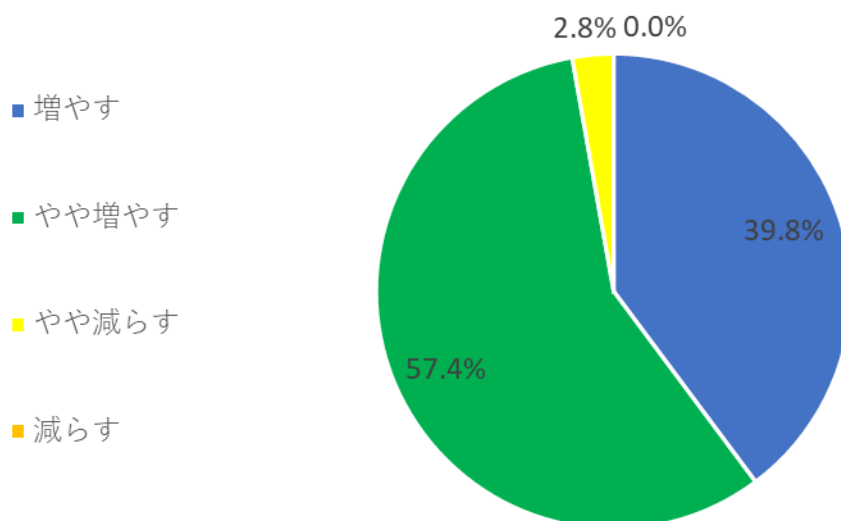
○今後取引先との会議や打ち合わせは WEB 会議でも問題ないと思
いますか？（択一回答）

図 6



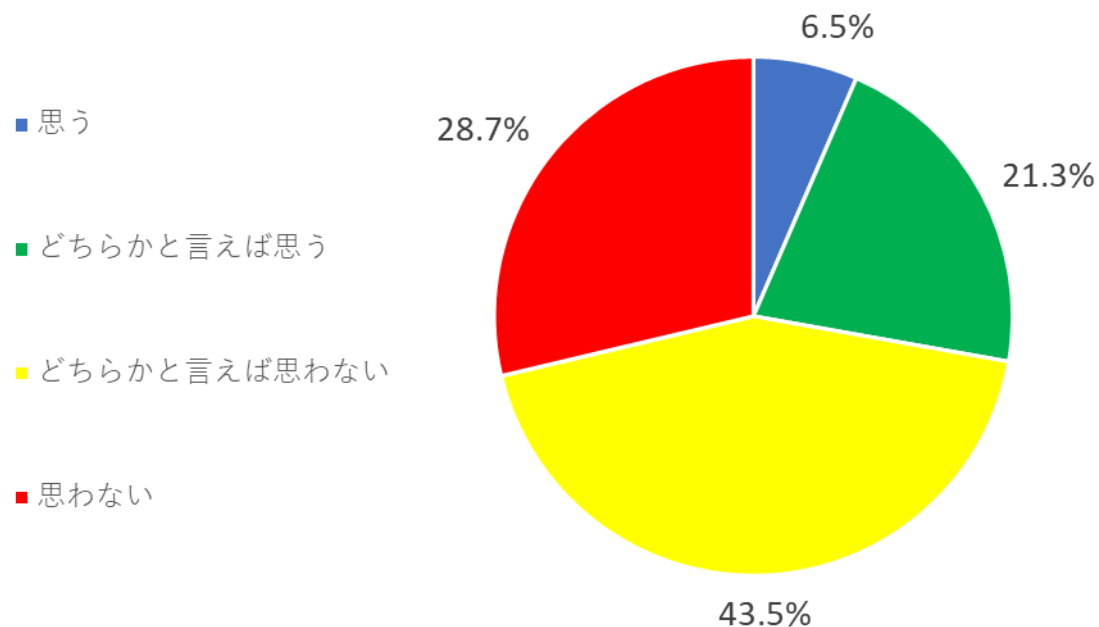
○今後は自社の IT 投資を増やしますか？（択一回答）

図 7



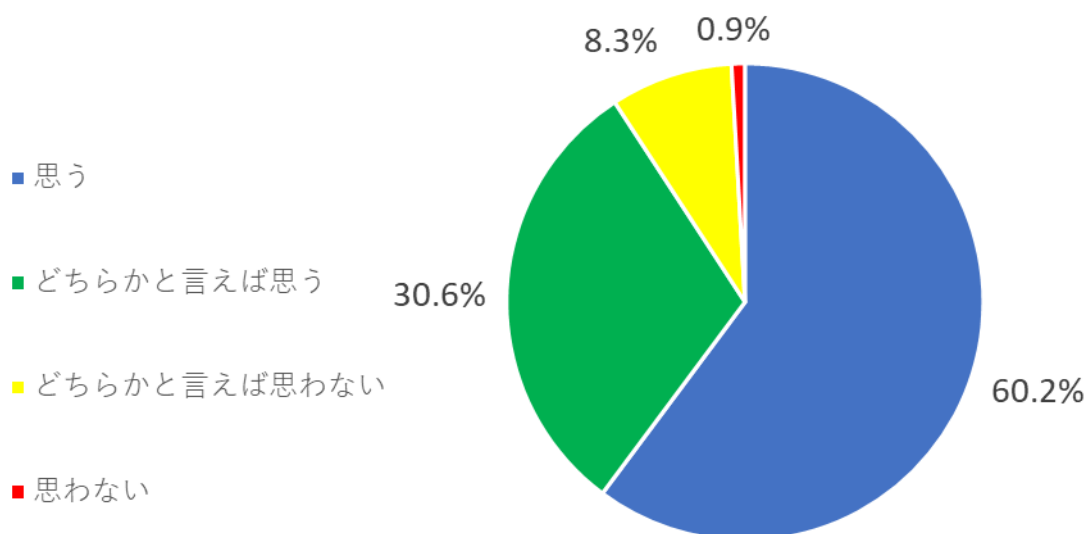
○コロナ後の生活や社会の変化についてお聞きします。今までと同じ日常生活や仕事のやり方に戻れると思いますか？（択一回答）

図 8



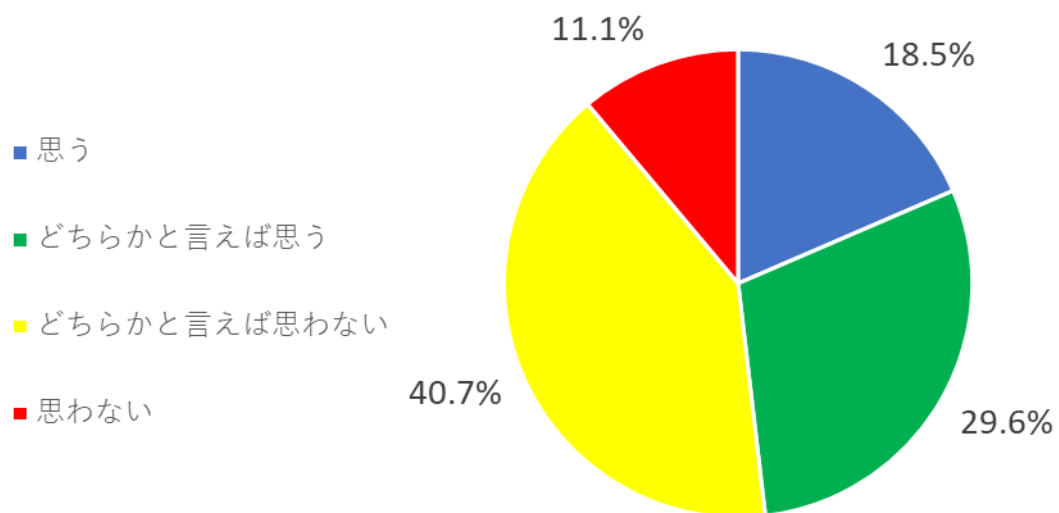
○働き方が変わるとお聞きしますか？（択一回答）

図 9



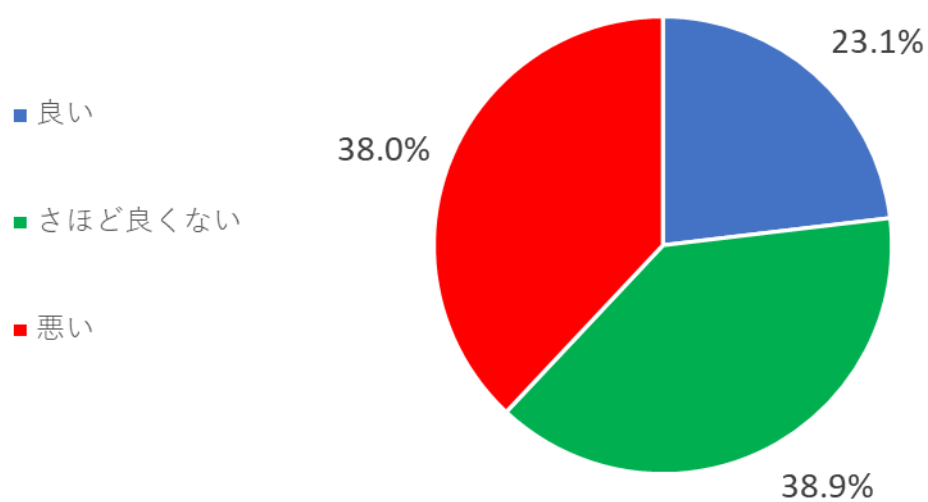
○今後、大都市から地方へ分散されると思いますか？（択一回答）

図 1 0



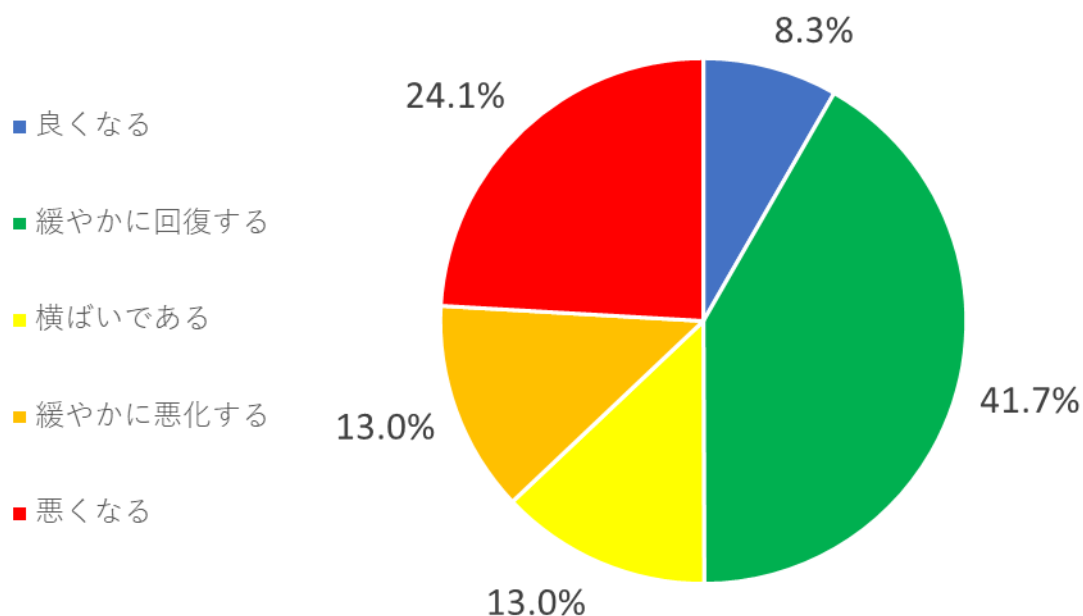
○現在の業況は前より良くなりましたか、悪くなりましたか？
（択一回答）

図 1 1



○1年後の景気についてどう思いますか？（択一回答）

図 1 2



【概要】

- 「Web 会議システム」の導入についてほぼ9割の会員企業が導入している。
- 「Web 会議システム」の導入目的は、「社外との打ち合わせ」が 70.9%と最も多く、「対面による打ち合わせ」（68%）、「テレワーク環境の整備」（68%）、「社内コミュニケーションの向上」（53.4%）「IT化による効率化」（44.7%）と続く。「Web 会議システム」はネット環境さえあれば場所を選ばず容易に相手の顔を見ながらコミュニケーションが取れるメリットが享受でき、新型コロナウイルスの影響でテレワーク環境を整備する必要に迫られる中、既存のビジネス環境とほぼ同じ質を担保するツールとして活用しているという事が伺える。
- 「Web 会議システム」の利用シェアは上位が「Zoom」86.1%、「Skype」32.4%、「Google Hangouts Meet」26.9%「Microsoft Teams」18%となっている。「Zoom」の利用が圧倒的に多いのは、ユーザー情報登録が必要な「Skype」より、URLリンクだけで繋がる「Zoom」の方が使い勝手が良く、取引先や社内で会議ツールとして一度導入されると利用がデフォルト化しているという事が伺える。

○「Web 会議システム」に満足しているかでは、「満足している」「どちらかと言えば満足している」との回答が合わせて 90.8%という圧倒であった。これは出張費がなくなるというコストダウン効果や、必要なときにすぐ開催できる利便性、電話やメールとは異なり、画面越しとはいえ顔を突き合わせたコミュニケーションができるなどにより満足度は高いと思われる。

○「今後、社内会議は WEB 会議でも問題ないと思いますか？」では 75%が肯定的であるが、「今後取引先との会議や打ち合わせは WEB 会議でも問題ないと思いますか？」では「思わない」「どちらかと言えば思わない」が 35.2%と少なからず不満に感じている結果となった。今回の新型コロナウイルスにより多くのビジネスパーソンが WEB 会議というものに“必要に迫られて”触れ始めたと言え、接続や操作の不慣れなどにより不満はあるにせよ、今後ユーザーの使い慣れとともに解消が期待される。

○「今後は自社の IT 投資を増やしますか？」では 97.2%とほぼ回答者全員が投資をするという結果となった。これは「アフターコロナ」に向けて、IT 活用は「新しい働き方」など変革を推進する必須ツールとして考えている会員企業が多いことが見て取れる。

○アフターコロナにおける、社会の変化について予想を聞いた設問では 72.2%の会員企業が「今までと同じ日常生活や仕事のやり方に戻れとは思わない」と答えた。「働き方が変わると思いますか？」では 90.8%がほぼ変わるとの回答があった。「大都市から地方へ分散される」といった社会の構造に関する変化への予測は「思わない」「どちらかと言えば思わない」が 51.8%となった。

○「現在の業況は前より良くなりましたか、悪くなりましたか？」では「悪い」「さほど良くない」で 76.9%と回答となり業況判断 DI（良い－悪い）は△15 ポイント。新型コロナウイルスの影響や終息について不透明感が残るなか、会員企業においても景況感の悪化が続く見込みである。

○「1 年後の景気についてどう思いますか？」では「良くなる」「緩やかに回復する」が 50.0%で「悪くなる」「緩やかに悪化する」が 37.1%だった。

2021 年度は、感染拡大による経済活動への制約が徐々に薄らいでくるうえに東京オリンピック・パラリンピックの開催によるイベント効果や、5 Gの本格的普及が進むことなどへの期待が伺える結果となった。